

# Newsletter: 日本音韻論学会 (PHSJ)

第 21 巻第 1 号 (通巻 60 号)

2017 年 5 月 30 日

## 『音韻研究』第 20 号発行

『音韻研究』第 20 号が発行されました。昨年度の会費を今年の 3 月末日までに納付された方には、この Newsletter とともに 1 部お送りしています。ご確認ください。

2016 年度春期研究発表会と音韻論フォーラム 2016 における講演・研究発表の中から、査読を経た研究論文 10 篇、招待講演論文(学位取得者講演論文を含む)3 篇、発表要旨 3 編、20 周年シンポジウム関連 4 編、合計 20 篇が収められています。

## 学会会長・副会長交代について

任期満了にともない、3 月末で田端敏幸氏が学会会長を、田中伸一氏が副会長を退任されました。4 年に渡り、学会運営の中心として多大なご尽力をいただきましたことに、会員一同、感謝いたします。

2017 年度から、新会長に田中伸一氏(東京大学)、新副会長に山田英二氏(福岡大学)が就任いたしました。2020 年度までの 4 年間、新体制へのご協力をお願いいたします。

## 新理事決定

2017 年春に理事定員 14 名のうち、半数の 7 名の改選選挙が行われました。その結果、2017 年 4 月より以下の 8 名の方が新しい理事に就任されました(50 音順、敬称略)。

岩井康雄(大阪大学)、桑本裕二(公立鳥取環境大学)、竹安大(福岡大学)、時崎久夫(札幌大学)、那須川訓也(東北学院大学)、ポッペ、クレメンス(早稲田大学)、山根典子(広島大学)、米山聖子(大東文化大学)

任期は 2021 年 3 月までの 4 年間です。よろしくお願いたします。

## 2017 年度春期研究発表会

2017 年度春期研究発表会(通算第 24 回大会)が、6 月 23 日(金)に、慶應義塾大学日吉キャンパス(来往舎 2F 大会議室)で開催されます(なお 6 月 24 日~25 日には日本言語学会の大会が首都大学東京南大沢キャンパス(東京都八王子)で行われます)。

プログラムは以下の通りです。奮ってご参加下さい。発表会終了後、会員総会が行われますので、ご出席下さい。その後、懇親会が予定されています(会費、会場については、当日お知らせします)。

記

日時: 2017年6月23日(金) 13:00 - 18:10

会場: 慶應義塾大学日吉キャンパス(来往舎 2F 大会議室)(〒223-8521 神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1・日吉駅(東急東横線、東急目黒線/横浜市営地下鉄グリーンライン)徒歩1分※東急東横線の特急は日吉駅に停車しません。地図は以下のサイトを参照。

(<https://www.keio.ac.jp/ja/maps/hiyoshi.html>)

参加費: 会員: 無料, 非会員: 2,000 円, 非会員の学生: 500 円

問合せ: 高山知明(金沢大学) 担当理事

[phsj.spring@gmail.com](mailto:phsj.spring@gmail.com)

または、学会事務局

## プログラム

13:00 - 13:05 開会挨拶

セッション 1 一般発表

司会: 小川晋史(熊本県立大学)

13:05 - 13:45 陳 曦(大阪大学)

後部要素が状態や動作をあらわす 4 字漢語のアクセントの自然度評価 - 「融合→非融合」と「非融合→融合」の比較-

13:45 - 14:25 李 墨彤(大阪大学)

漢語と外来語の優勢なアクセント型の学習可能性について

(休憩 10 分)

セッション 2 学位取得者講演

司会: 六川雅彦(南山大学)

14:35 - 15:35 伊藤喜久代(香川高等専門学校)

Perception of place-of-articulation contrasts in English word-final consonants in connected speech by Japanese adult L2 learners (The Graduate Center of the City University of New York, 2012)

(休憩 10 分)

セッション 3 一般発表

司会: アーウィン マーク(山形大学)

15:45 - 16:25 Céleste Guillemot(国際基督教大学)

On the perception of the geminated elided pronoun "l'" in Parisian French

(休憩 10 分)

セッション 4 学位取得者講演

司会: 岡崎正男(茨城大学)

16:35 - 17:35 増田斐那子(成蹊大学)

Effect of L1 influence and L2 proficiency on the perception and production of foreign sounds (上智大学, 2011)

(休憩 5 分)

17:40 - 18:05 総会

18:05 - 18:10 開会挨拶

18:20 - 20:20 懇親会

## 音韻論フォーラム 2017

音韻論フォーラム 2017 が以下の予定で開催されます。韓国を含む海外からの招待講演ならびに学位取得者講演と一般研究発表で構成されています。

日時：2017年8月23日(水)～25日(金)

会場：首都大学東京 南大沢キャンパス

[http://www.tmu.ac.jp/university/campus\\_guide/access.html](http://www.tmu.ac.jp/university/campus_guide/access.html)  
プログラム等詳細は、次号でお知らせします。

## フォーラム研究発表募集

音韻論フォーラム 2017 の研究発表を、下記の要領で募集いたします。発表希望の方は奮ってご応募ください。プログラム等の情報は7月下旬発行予定の Newsletter にてお送りいたします。

本フォーラムでの発表内容は、編集委員会の査読を経て『音韻研究』第21号(2018年3月刊行)に掲載されることとなります。学会誌への掲載という点からも、他学会との重複発表はくれぐれもご遠慮下さい。なお『音韻研究』への掲載は、発表1件につき、原則として8ページです。

<応募要領>

発表(論文)テーマ：音韻論・音声学に関するもの、あるいは音韻論・音声学と他の分野とのインターフェースに関するもの。

使用言語：日本語または英語。

発表形態：一般発表またはワークショップ

送付方法：いずれの発表形態の場合も、①要旨、②発表者情報を別のシートに記載し、下記の担当理事宛に送信して下さい。

### I. 一般発表の場合

- ①「要旨」には、タイトルと発表要旨のみを記入する(氏名等は記載しない)。要旨は日本語の場合2000字以内、英語の場合800語以内とする。別紙に、参考文献一覧を1枚以内で示す。
- ②「発表者情報」には、氏名、所属、発表タイトル、メールアドレス、住所、電話番号を記載。

### II. ワークショップの場合

- ①「要旨」は、ワークショップ全体に関するものと、各発表者によるものを用意し代表者が取りまとめ、一括して送信する。各要旨には、タイトルと発表要旨のみ記入する(氏名等は記載しない)。各要旨は日本語の場合は2000字以内、英語の場合は800語以内とする。要旨各々につき、参考文献一覧を1枚以内で示す。
- ②「発表者情報」には、発表者全員の氏名、所属、タイトル、メールアドレス、住所、電話番号を記載。代表者に印をつける。

メールでPDFファイルを送信(PDFファイルの作成が不可能な場合は、Wordファイルにて送信)。PDFファイルで投稿できない場合は、事前に担当理事にご連絡下さい。

書式：A4サイズに発表時の使用言語で記載。

締め切り：2017年6月30日(金)

送付先：phonforum@gmail.com

(フォーラム 2017 担当)

書式を守っていない、あるいは期限に間に合わない応募原稿は無効としますので、ご注意下さい。7月中旬に、発表の可否を通知予定です。

## 旅費の補助について

学会では、若手研究者への支援を目的として、非有職者(学生や非常勤講師等)で、かつ、遠隔地からの発表者を対象に、旅費の補助を行います。春期研究発表会、音韻論フォーラムいずれの時期も対象で、一人上限国内2万円、海外5万円です。応募者に対する審査と補助額の算定は事務局で行います。該当される方は発表応募時にお知らせ下さい。

## 『音韻研究』の購入方法

学会からの配布以外に『音韻研究』の購入を希望される会員は、会員特別価格で購入できます。また、本学会前身の音韻論研究会編『音韻研究—理論と実践』についても、特別価格で購入できます。詳しくは、下記にお問い合わせ下さい。

開拓社『音韻研究』係

〒113-0023 東京都文京区向丘1-5-2 水上ビル 4F

TEL: 03-5842-8900 FAX: 03-5842-5560

E-mail: kawata@kaitakusha.co.jp

## 会費納入のお願い

日本音韻論学会は、会員の皆様からの「会費」により運営されております。会費納入にご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

封筒の宛名下にある数字を参考にして、会費を納入願います。印字された数字のうち6,7は、それぞれ2016,2017の各年度の会費が未納であることを意味します。\*は、会費納入済みであることを、括弧付きの数字はその年度の会費が不足していることを意味します。また、tはthousandの意味で、[5t]とあれば、5,000円会費が未納、または不足していることを意味します。たとえば、「\*7[5t]」と印字されていれば、2017年度の会費が未納で、その総額が5,000円であることを意味します。

年度にかかわらず未納分の会費が納入され次第、当該年度の『音韻研究』を無料で送付しています。

封筒をご確認の上、未納の会費を以下の郵便振り込みで納入していただきますよう、お願いいたします。

郵便振込：

口座番号：00180-6-402077

加入者名：日本音韻論学会

年会費：

維持会員： 10,000 円

一般会員： 5,000 円

学生会員： 4,000 円

「維持会員」は、本会を格別に支援して下さる会員です。年会費 1 万円を納入することにより、どなたでも維持会員になることができます。ご検討、ご協力をお願い申し上げます。

また、会員情報(住所、所属、連絡先)が変更になった場合は、必ず**事務局会計**にご連絡下さい(学生会員から一般会員へと身分変更となった場合も、必ずご連絡下さい)。連絡されないままにされますと、Newsletter や『音韻研究』等の配布物が正しく配送されませんので、ご注意願います。

### 事務局の異動

3 月末をもって本間猛氏が事務局長を、竹安大氏が局長補佐・書記を、西村康平氏が会計を退任し、4 月から新事務局長に西村康平氏(いわき明星大学)が、新会計に坂本洋子氏(獨協医科大学)が就任いたしました。

### 日本音韻論学会事務局

【事務局長(学会所在地)】

西村 康平(いわき明星大学)

〒970-8551 福島県いわき市中央台飯野 5-5-1

いわき明星大学 教養学部

TEL: 0246-29-7196(直通)

E-mail: kohei.nishimura@iwakimu.ac.jp

【会計】坂本 洋子(獨協医科大学)

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林 880

獨協医科大学医学部 語学・人文教育部門

TEL: 0282-87-2481(代表)

E-mail: y-saka@dokkyomed.ac.jp